

消防団員アンケートの結果

調査概要

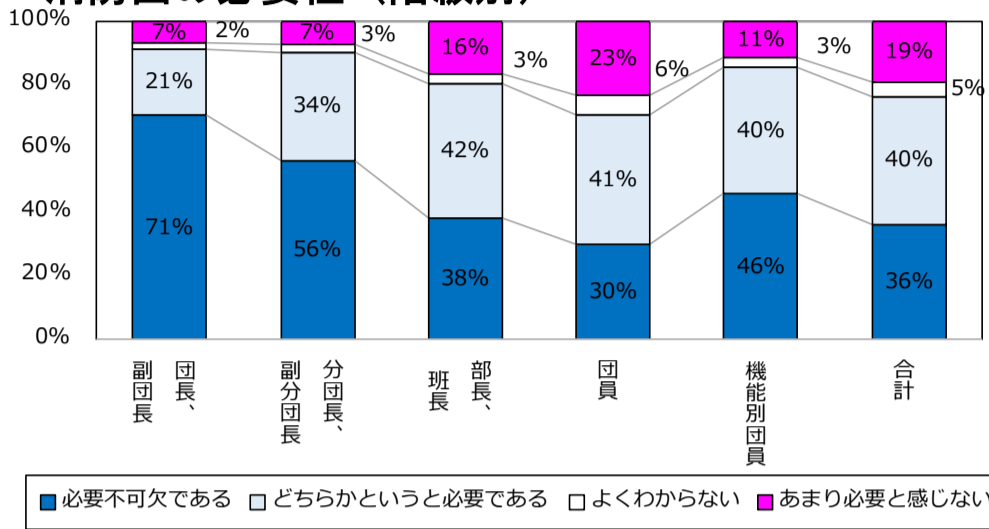
消防団員が消防団に対しどのような改善点を求めているか把握し、今後の県支援策や消防団員確保対策を検討するため、令和3年5月に市町村経由で消防団員アンケートをオンラインで実施した。

【回答者数】5,650人(回答率26.3%) ※21,518人(県内の全て消防団員)を対象に調査

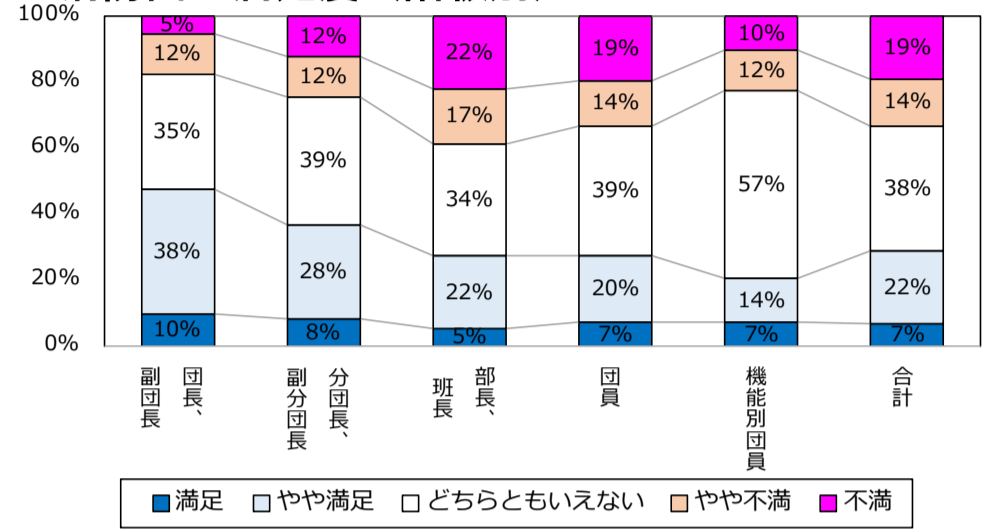
団長、副団長	分団長、副分団長	部長、班長	団員	機能別団員	合計
153	563	1,583	3,196	155	5,650

調査結果

1 消防団の必要性（階級別）

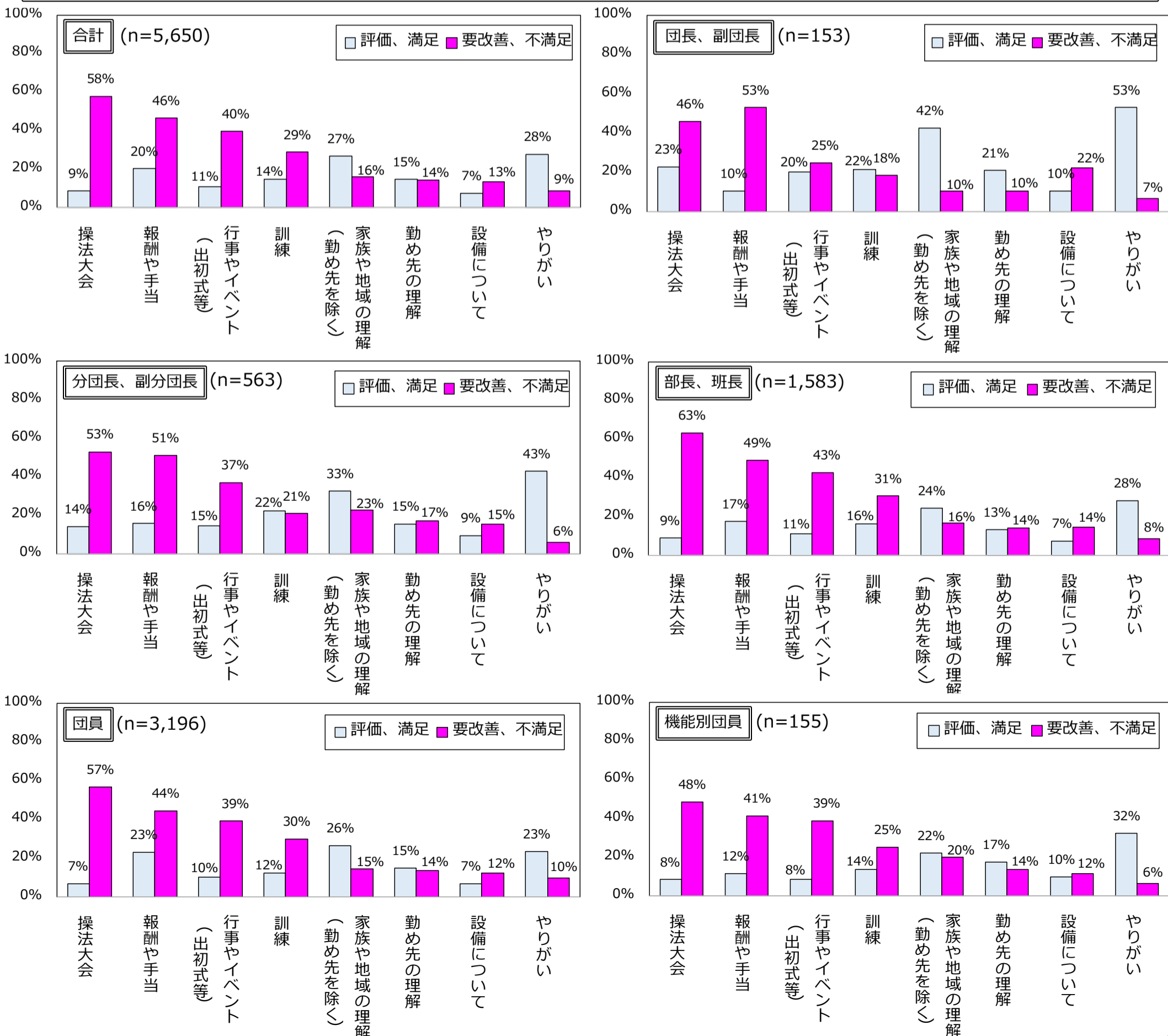


2 消防団の満足度（階級別）



3 消防団活動に対する評価（階級別・複数回答）

「操法大会」、「報酬や手当」、「行事やイベント(出初式等)」に対する要改善・不満の割合が高い。



4 消防団員数を維持するための意見

- 実災害を見据えた訓練を実施すべきであり、操法大会での実災害で活かされない実技の改善、過去からの慣例にとらわれず意義のある訓練の実施が必要
- コロナ禍により中止となった操法大会に代わり送水訓練を定期的の実施しているが、競技性もなく、参加者を幅広く募ることができるため、実践的かつ効率的な取組みである
- 操法大会・出初式・夜警等形式的な行事に割かれる時間の負担軽減
- 報酬・手当の拡充、金額の地域差を是正し加入への意欲を持たせることが重要
- 災害時に初めて必要性が認識されるのが消防団であり、人命救助に携わる消防活動に誇りとやりがいを感じる。家族・住民・自治会・勤務先に対し、消防団のやりがいや必要性について理解・協力を求めていくことが重要
- 消防団に対する「飲み仲間の集まり」といったイメージや「負担の大きい訓練」の改善
- 「ありがとね！消防団水防団応援事業所制度」の対象施設や割引率を拡充